

【アン・ジーンと一緒に！片淵キャンパスの魅力を見ていこう ～パート1～】

こんにちは、アン・ジーンです😊

「アン・ジーンと一緒に！片淵キャンパスの魅力を見ていこう ～パート1～」ということで、今回から片淵キャンパスにある魅力を発信していきます✨

ただ、ひょっとしたら疑問に思われた方もいらっしゃるかもしれません😓

「そもそも、僕(アン・ジーン)が何でこんなところに？😓」

そうなんです。

僕は11月下旬にあったエコライフ・フェスタで来た、「デロリアン」に乗り損なってしまう、江戸時代にタイムリープ出来なかったんです😓

ですが、いつの間にか山口研究室のメンバーと仲良くなっていて、「片淵キャンパスの魅力伝承なら僕に任せろっ！！」ということで、今回から片淵の魅力をお伝えしていきたいと思います✨

記念すべき第一回目は、経済学部講堂横にある校歌碑の紹介です！

1. 校歌碑(講堂前)

この歌碑は創立100周年を記念して、経済学部講堂横に建てられました。

当時、校歌は永久に学校の精神を左右するものなので、校歌制定には細心の努力が払われたそうです。

経済学部30年史によると、第1回募集で寺田哲雄氏(第6回卒)の仮校歌が決まり、第2回募集当選作が当時2年在学中の牛島秀雄氏(第6回卒)による現在の校歌であると記されています。作曲は長崎師範学校の島村吉門教諭であり、島村教諭の歌詞曲で叩き込まれた生徒たちは、母校の歌を晴れがましく合唱したそうです。

伝統は今でも引き継がれ、経済学部の同窓会ではこの歌を大合唱するのが恒例となっています♪

「一日いち片淵！」

日々、片淵の魅力をお伝えしていきます！

次回もお楽しみに😊

※参考文献

瓊林会[2015]「長崎大学経済学部創立110周年記念誌」三省堂印刷所

